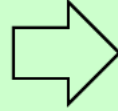


ほ場整備による規模拡大による経営の安定化としいたけ栽培の導入 ～柏村誠氏～

経営体の概要

ほ場整備前：平成20年
基幹作物：水稲、しいたけ
経営面積：4.0ha



現在：平成29年
基幹作物：水稲、しいたけ、大豆
経営面積：7.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

父親の跡を継ぎ、約10年前に就農した。就農後にハウスを建設し、新たにしいたけ栽培を導入した。また、本経営体の父親が主体となり、地域をとりまとめ平成21年から基盤整備事業が開始された。地域農業の担い手として、農地の集積化、規模拡大を行った。転作として地域で導入を進めた大豆栽培は、ほ場整備を契機に生産組合で収穫作業等を行っている。

営農改善のポイント

① 栽培技術

しいたけの菌床は購入し、8,000菌床を栽培・管理し、出荷している。ほ場整備により、暗渠施工で水はけは良くなり大豆等の栽培に適したほ場となった。また、大豆は事業を契機に生産組合で共同作業を行っている。

② 規模拡大・土地利用調整

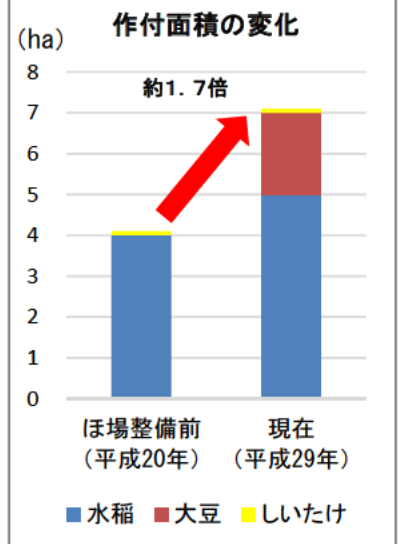
ほ場整備事業を契機に中間管理機構を通して約3haを借り受けた。ほ場整備地区では、担い手への集積により、規模拡大が進んだ。

区画整理、パイプライン化により管理作業が軽減された。

③ 流通・販売の工夫

長年、栽培している稲の種子は米の販売価格により買い取り価格が増減するものの毎年、一定量出荷できる。

また、母親がもち米で6次産業化に取り組み、加工場で餅やおこわ等を作り、直売所で販売している。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：須賀川市、白河市、鏡石町、天栄村、
泉崎村、中島村、矢吹町

受益面積：3,228ha
事業期間：平成4年～平成22年
事業目的：用水改良、区画整理

主要工事：ダム1箇所、頭首工1箇所、揚水機場1箇所、
用水路L=18.0km

位置図 (福島県)



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
(内線4460)

(平成29年度調査時点)